

# 令和8年度 道徳教育 全体計画

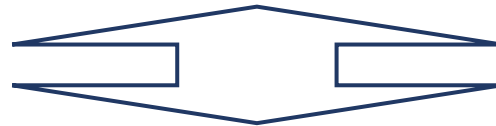
学校番号	7	中野西 高等学校	全 課程	普通 科
------	---	----------	------	------

学校教育目標
教育基本法の精神にのっとり、平和的な国家・社会の有為な形成者を育成し、敬と愛と信とに満ちた学園を創る。
重点目標
<p>地域から期待される進学校として、生徒の支援体制を整え、希望する進路の実現を目指す。</p> <p>1. 学力の確実な定着を図るとともに、生徒が主体的に学びに向かうよう、授業内容の充実を目指す。</p> <p>2. ユネスコスクールの理念に基づき、ESDおよびキャリア教育を推進し、進学校としての取り組みを進める。</p> <p>3. 他者を尊重し思いやる寛容さと高い人権意識を醸成し、いじめ・体罰のない安全で安心できる学校づくりを行う。</p> <p>4. 保護者や地域の信頼を高め、開かれた学校づくりをさらに進める。</p>

道徳教育の重点目標
<p>1. 自主自律の精神を重んじ、主体的に心身の調和ある生活を送れるよう努めさせる。</p> <p>2. 自他の生命や人格を尊重する態度を養い、謙虚な姿勢で他者を思いやる心を育む。</p> <p>3. 他者と協働する活動を通して、集団の一員として、より良い社会の創造に積極的に貢献しようとする資質や能力を養う。</p>



学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	高校生としての自覚や規範意識を持ち、基本的な生活習慣を確立するとともに、正しく自己を見つめ、思いやりを持って人に接する人間性を養う。	勤労観や職業観を育成するために、将来設計能力、情報活用能力、人間関係構築能力を育てる。また学習習慣と基礎学力の定着を図る。	望ましい生活習慣を確立し、集団の秩序を尊重する態度を育成する。	集団活動を通して自立的な習慣や愛校心、自律性を育成する。また、集団の一員として責任を持って行動する態度を養う。
2年	中堅学年としての自覚を持ち、集団の中でお互いを認め合い協力する姿勢を身に付けるとともに、将来に向けて自発的、意欲的な態度で学習や学校行事等に取り組めるようにする。	社会、職業理解の深化を図るとともに将来の目標や通過点を具体化し、それに向けた学力を養う。	様々な活動を通して、人間としての在り方生き方に対する考え及び他者と関わることの大切さを理解する。また修学旅行にあたり、沖縄独自の文化や抱える歴史問題について学び、平和や命を尊重する姿勢や異文化理解への考えを深める。	協力して何かを成し遂げたり作り上げたりする経験を通して社会性を育てるとともに、集団への帰属意識や連帯感を深める。
3年	社会の一員としての役割や義務を念頭に置きながら、自己実現のために、よりよい人生観や価値観を探究する力を養う。	進路実現に向けてより専門的な学力の充実を図るとともに、自己の能力や適性を客観的に分析し、社会のニーズと照らし合わせながら進路を決定していく。	道徳に関わる諸課題を考察することにより、社会の一員として、良好な人間関係を築くことのできる生き方を考える。	学校生活の充実や改善、向上を図ろうとする自主的、実践的な態度を育てる。また地域活動などの取り組みを通して、他者を尊重し、より良い社会を築こうとする態度を養う。



各教科	
国語	他者の気持ちを想像できる力を身に付け、尊重できる心を養う。言語表現力、理解力、読解力を磨くことを通して、相互理解のためのコミュニケーション能力を育てる。
地理歴史	地域的特色や歴史的過程について認識を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に貢献する資質を養う。
公民	人間としての在り方や生き方を考えさせ、公共の精神を身につけさせることにより、主権者としての自覚を持たせる。
数学	筋道を立てて考えたり数理的に考え処理することの良さを認識させたりすることで、道徳的判断力の基盤を培うとともに、より良いものを探求しようとする態度を養う。
理科	自然の事物や現象についての理解を深め、科学的に考える態度を養う。また、生命を尊重する態度や自然を愛する心情を育てることで、道徳的判断力を大切にする態度を養う。
保健体育	運動の実践や集団でのゲームなどを通して、ルールやマナーを大切にし、自己責任を果たそうとする態度の育成を図る。また、自他の生命を尊重しながら、生涯を通して心身共に健康的な生活を営むための資質を養う。
芸術	芸術の幅広い活動を通して、芸術を愛好する心情、芸術的な感性、美しいものや崇高なものを尊重する態度を育てる。また、芸術文化への理解を深め、豊かな情操を養い、道徳性の基盤を培う。
外国語	外国の言語や文化への理解を深めるとともに、異文化を尊重して積極的に言語によるコミュニケーションを図り、国際的視野に立って世界平和と人類の幸福に貢献する態度を育てる。
家庭	人間の発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族や周囲の人々を思いやり、お互い尊重しながら協力して家庭や地域の生活を創造し、誰もが自分らしい生き方を選択できるような能力、実践力を育てる。
情報	情報及び情報技術を活用させるための知識と技能の習得を通して、情報モラルについて考え、情報化社会に主体的に参画できる能力と態度を育成する。
総合的な探究の時間	地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・共働的に取り組むとともに、お互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。

家庭・地域との連携	地域に開かれた学校として、地域の多様なコミュニティーや家庭との連携を通じて、多彩な人間関係の構築を図りながら自他ともに尊重する心を育み、よりよい社会を築くための構成者としての自覚を高める。
-----------	--